



THE TIME IS NOW

建築・土木を中心としたヴィジュアルライゼーション業界動向について

宋 明信

Technical Sales Specialist - Media and Entertainment

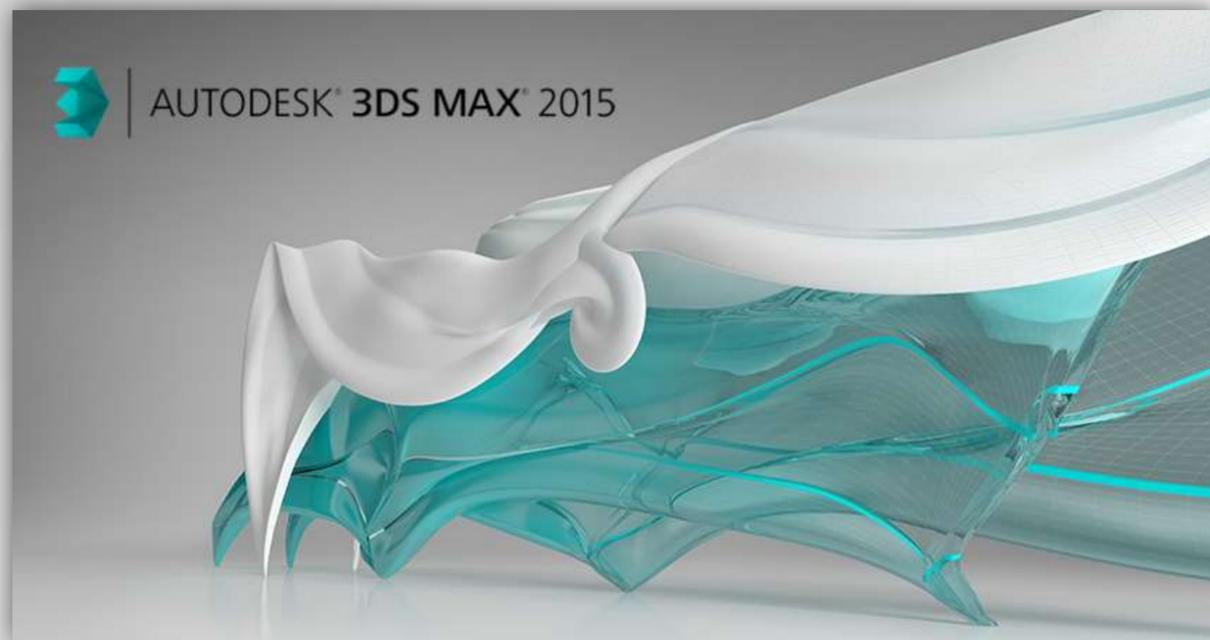
FY16 における製品トピック

FY16 における製品トピック

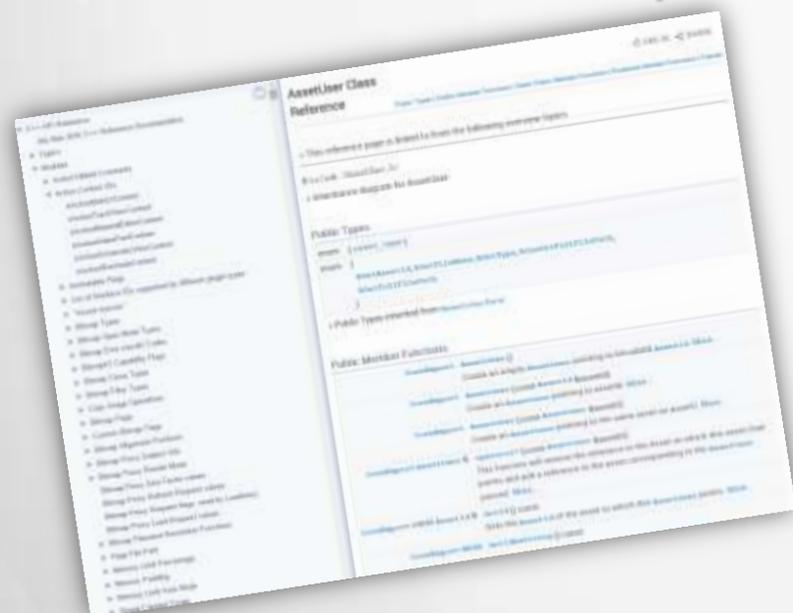
One Max

- 3ds Max と 3ds Max Design のブランディング統合
- 3ds Max 2009～2015
ターゲットマーケット向けに、製品を分割。
 - 3ds Max GAME、映画、ブロードキャスト、広告業界向け
 - 3ds Max Design 建築、製造、土木等 設計業務を主体する業界向け
各Autodesk Design Suite Premium以上にバンドル

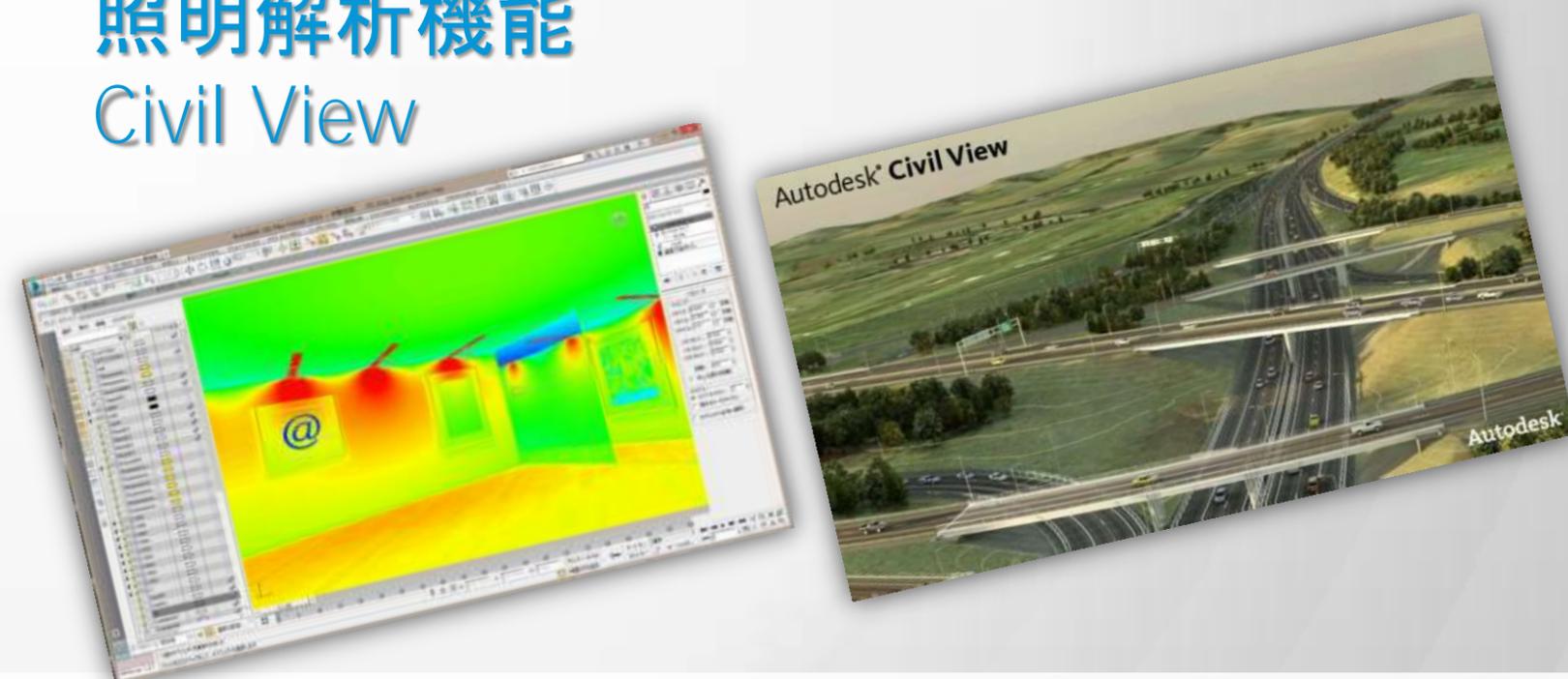
3ds Max 2016 One Max



SDK (Software development Kit)



照明解析機能
Civil View



3ds Max Design + Autodesk Design Suite

- 3ds Max Designが同梱されていたAutodesk Suite 製品
全Suite製品の Premium以上に同梱



**AUTOCAD
DESIGN SUITE**



3DS MAX DESIGN



**PRODUCT
DESIGN SUITE**



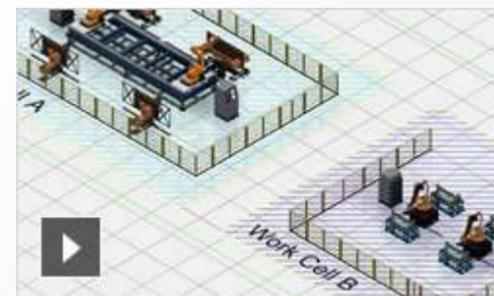
3DS MAX DESIGN



**BUILDING
DESIGN SUITE**



3DS MAX DESIGN



**FACTORY
DESIGN SUITE**



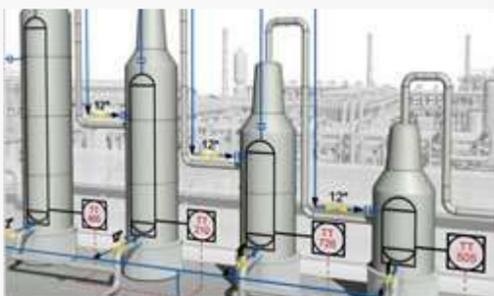
3DS MAX DESIGN



**INFRASTRUCTURE
DESIGN SUITE**



3DS MAX DESIGN



**PLANT
DESIGN SUITE**



3DS MAX DESIGN

3ds Max Design + Autodesk Design Suite

- Suite 2016 以降は, 3ds Max が同梱されます。
全Suite製品の Premium以上に同梱



**AUTOCAD
DESIGN SUITE**



3DS MAX



**PRODUCT
DESIGN SUITE**



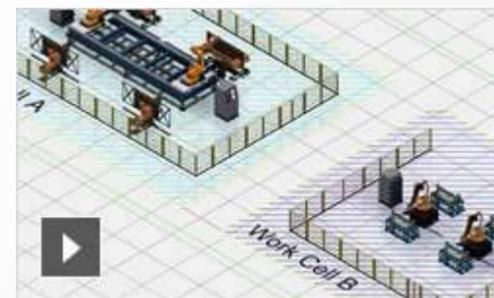
3DS MAX



**BUILDING
DESIGN SUITE**



3DS MAX



**FACTORY
DESIGN SUITE**



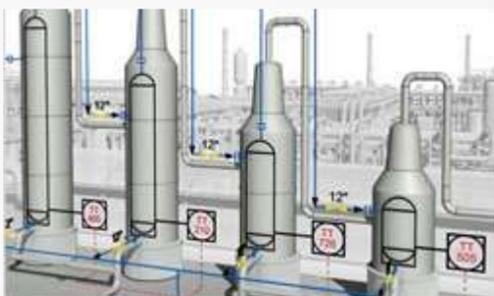
3DS MAX



**INFRASTRUCTURE
DESIGN SUITE**



3DS MAX



**PLANT
DESIGN SUITE**



3DS MAX

3ds Max、3ds Max Designの既存ユーザー Subscription アップグレード



3DS MAX



3DS MAX DESIGN



ENTERTAINMENT
CREATION SUITE



AUTOCAD
DESIGN SUITE



FACTORY
DESIGN SUITE



INFRASTRUCTURE
DESIGN SUITE



PLANT
DESIGN SUITE



BUILDING
DESIGN SUITE

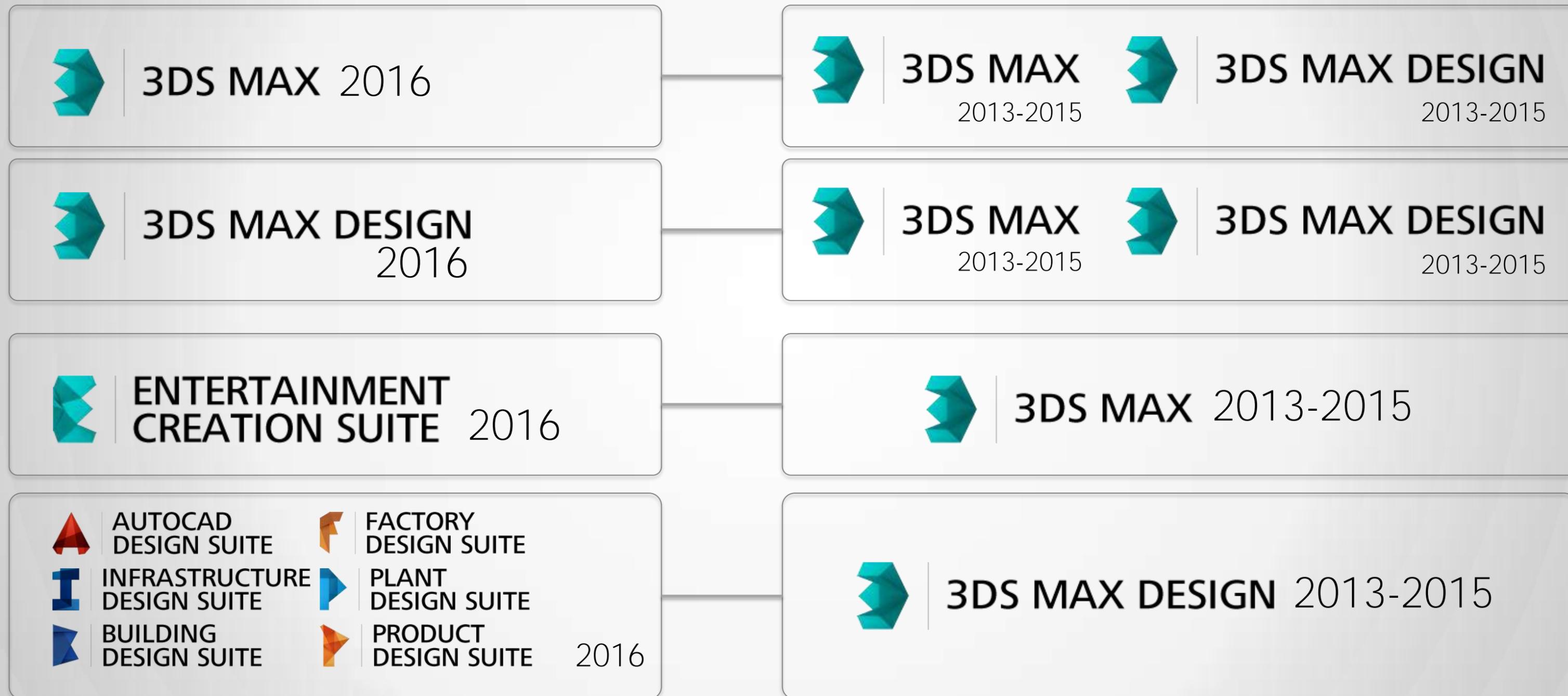


PRODUCT
DESIGN SUITE



3DS MAX 2016

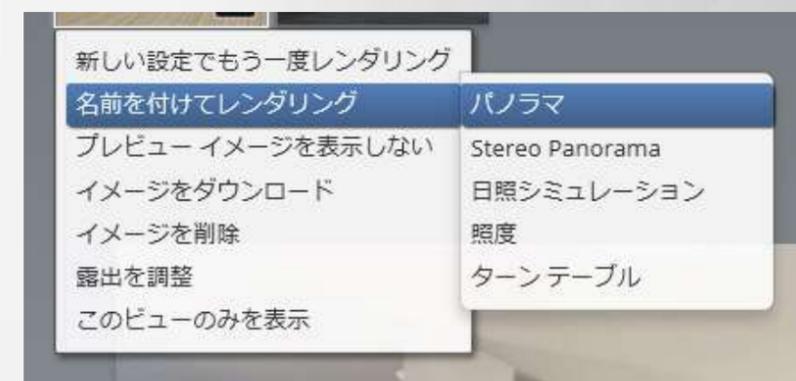
3ds Max、3ds Max Designの既存ユーザー Subscription 過去バージョンの入手



3ds Max 2016 のビジュアライゼーション業界向け新機能

- Autodesk A360 Cloud Rendering
- New Design Exchange
 - Autodesk Translation Framework (ATF)
 - New Revit Importer
 - Sketch Up 2015
- New Nvidia iRay
- **フィジカル カメラ**

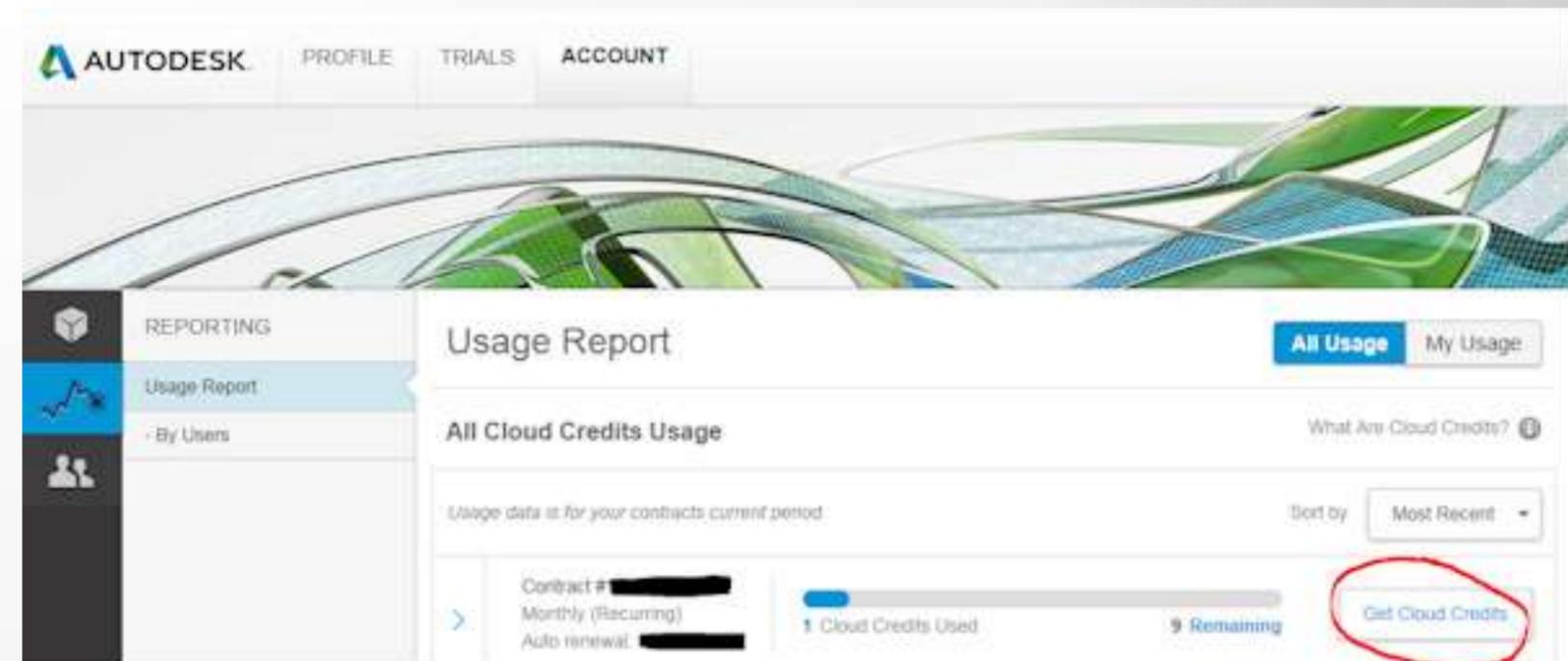
- Autodesk A360 Cloud Rendering
 - AutoCAD, Revit で実績のあるクラウド レンダリング
 - 最大4000ピクセルまでの解像度に対応
 - Rapid RT レンダリングエンジンを使用
 - パノラマ、ステレオパノラマ、照度計算
日照シミュレーション、ターンテーブル
 - アニメーションには未対応
 - モバイル端末からアクセス・処理が可能
 - 高品質、高解像度 処理にはCloud Creditsが必要



- 実運用ではクラウド クレジット再購入の可能性

- Cloud Credits

100 Cloud Credits ¥16,000- (5月より)



- Autodesk Translation Framework (ATF)
オートデスクとサードパーティ両方のファイル形式(SolidWorks® など)のデータ交換が簡潔になります。
SolidWorksライセンスなしで取り込みが可能 > SolidWorksユーザーの取り込み
PhotoView 360以上のクオリティを求める重要は高い
- Revit RVT Native import
読み込みスピードの大幅向上
メタ データやマテリアル属性の取り込みキャンセルが可能 > データの軽量化
- Sketch Up 2015データの読み込みが可能に



THE TIME IS NOW

製造業における最近の動向

- Design Suiteによるビジュアルツールの使用頻度が高まる
- メーカー内のビジュアル制作の需要が高まる
- 高品質なビジュアルは外注が多い
- コンシューマー家電メーカーより、産業系機材メーカーでの需要が高まる

製造業における最近の動向

例： 某医療機器メーカー

一つの製品ラインに 約2-3回/年 ほど外注処理
予算上すべてのコンテンツを外注できない

1回の外注費 約¥500万～

大手のビジュアル制作会社への発注がほとんど
今後社内製作を強化検討中

製造業における最近の動向

例： 某ファクトリー設計施工会社

海外の受注を増やすためにビジュアライズの強化が必須
既にCGグループは立ち上げたがスキルが伴わない
有償トレーニングの可能性大



建築・土木系 業界の動向

- パシフィックコンサルタンツ株式会社

川口 聡 様



